

牧羊ひろば



小松島栄光教会

小松島栄光教会では、教会学校を日曜日の朝9時30分から10時まで行っています。幼児から中学生までを対象としています。子供たちは7名、CS教師は4名です。子供たちの年齢が4歳ずつ離れており、上の子が下の子の面倒を見、下の子は上の子を慕うという良い関係が築かれていました。新型コロナウイルスの影響で公立学校が休校になったのに合わせて、3月から5月までの3か月間休校にしましたが、現在は再開しています。しかし、家の都合で、この4月から毎週出席できなくなった子供もあり、現在の平均出席者数は1名です。教会学校に出席できなくなったこの子供には、牧羊者のワークと聖書日課を毎週送るようにしています。

それでは、これまでの約10年間の取り組みについて、ご紹介します。



デイキャンプ 流しそうめん



デイキャンプ みことばと讃美の時間

●教会でデイキャンプ

教区主催のバイブルキャンプに集えない子供たちのことを考え、夏休みの一日を8時30分から20時頃まで教会で過ごすデイキャンプを、二〇一二年から二〇一六年の5年間、開催しました。いつも教会学校へ来ている子も、まだ一度も教会へ来たことのない子も、みんなあつま



デイキャンプ カレーライスづくり

れー!! 毎年テーマを決めて案内します(幼児は保護者同伴で)。これまでに開催したテーマは、「だいすきでよ!」「ひとつ!」「つながろう!」「かがやこう!」「主の手足になろう!」でした。プログラムは、みことばと讃美タイムが午前と午後の二回、みんなで遊ぼうタイム、宿題の時間、夕食の準備、後片付け。

みんなで遊ぼうタイムでは、イエス様が弟子たちの足を洗われた事にちなんで、参加者全員がお互いに足を洗ってあげる、洗ってもらう体験をしました。洗ってもらうのは、とても恥ずかしかったようです。他にも、壮年会の方に教わりながら竹鉄砲を作って遊んだり、婦人会の方に教わりながら、ラベンダーで香り棒を作ったりしました。スイカの差し入れがあったときには、スイカ割りもしました。

お昼には、事前に半分に割っておいた竹で流しそうめんをしました。夕食はカレーライスです。近くのスーパーに買い物に行き、みんなで協力して作って食べました。後片付けがすんだら、花火をして解散。

このデイキャンプには、日頃教会学校に来ている子供やそのお友達、夏休みで、おじいちゃんおばあちゃん宅

に遊びに来ていた子供やその親戚の子供、信徒の友達が自分の子供を連れて親子で参加してくださいました。青年会、婦人会、壮年会からも奉仕者が与えられ、主にあつて、思いっきり楽しい時を過ごしました。

今は、奉仕者の減少により、デイキャンプを行うことができなくなりました。



クリスマス祝会 劇

●クリスマス祝会での教会学校の出しもの

小松島栄光教会では、教会全体でクリスマス祝会をします。教会学校の出しものとしては、紙芝居（靴屋のマルチン、天地創造）を自分たちで作ってお話を読んだり、ミュージックベルを演奏したり、劇（羊飼いのクリスマス〔阿波弁〕、カナの婚宴）等をしました。地域の子供が劇に出たときは、その両親や兄弟が礼拝から参加し、祝会も一緒になって楽しんでおられました。

去年のクリスマスでは、はじめに模造紙に書かれたみことば（イヨハネ4・7～10）を交読し、そのあとでパブリカを踊りました。その日はじめて教会に来た子供たちも、飛び入りで参加して一緒に踊り楽しむことができました。

●幼児・児童祝福式

毎年11月に、礼拝中に行ないます。現在、信徒の子供や孫たちで小学生以下は15名位です。年々礼拝の時に共に集う子供が減っています。信仰継承のために主の導きを祈っています。

夜、初更に起きて叫べ。主の前にあなたの心を水のよ

うに注ぎ出せ。町のかどで、飢えて息も絶えようとする
幼な子の命のために、主にむかって両手をあげよ。

哀歌 2・19

●CS合同礼拝

毎月第二日曜日の教会学校は、10時30分からの礼拝に
合流しています。壮年会・婦人会・青年会&教会学校が
順番に、証詞や讃美や信仰に関する話などをします。教
会学校では、教区バイブルキャンプの感想や手話讃美や
振り付けのある讃美をしました。



幼児・児童祝福式

●各会主催のお楽しみ会

小松島栄光教会では、各会主催のお楽しみ会に子ども
から大人まで誰でも自由に参加できます。各会の人数は
少ないですが、年代を超えた交わりを楽しんでいます。

1月には、青年会主催で書初めをします。心に留まっ
たみことばを墨で書きます。一ヶ月ほど掲示してから



CS合同礼拝での讃美

持って帰ります。また、一年間の写真を模造紙に貼って掲示します。それぞれの写真に、青年や子供たちがコメントを記入します。希望者は、写真を購入することもできます。

3月には、婦人会や教会学校主催でおやつ作りをします。餅つき機でついたお餅を丸めたり、いちご大福を作ったり、クレープを作ったりしました。もちろん作った後はみんなでおいしくいただきました。

婦人会の方が、ご自身の趣味をみんなで楽しみたいと、夏に藍染め体験をしたり、秋には松ぼっくりでクリスマスツリーを作ったりしました。

4月と11月には、壮年会主催で野外親睦会（お花見紅葉）をします。みことばと讚美の時、ゲーム、お弁当、自由に散策の時があり、日曜日に教会に集えないお孫さんたちもいっしょに楽しい時を過ごしました。

●地域の小学校でのお話タイムに参加

5月から3月まで毎月一回15分間、地域の小学校に出かけて、絵本を読みます。12月には、「クリスマスのくくりもの」「したきりすずめのクリスマス」によって、イエ

ス様のお誕生を伝えます。その他には、「きみのかわりはどこにもいない」「たいせつなきみ」「ゴンダールのやさしい光」「わがままな大男」「天動説の絵本」「ふしぎなたね」「ゆうき」「葉っぱのフレディ」「ありがとうフォルカー先生」「ほしとたんぽぽ」「にじいろのしまうま」「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」「しあわせの王子」「フランダーズの犬」等、これらのお話をとおして、



思い出写真づくり

神様の愛が伝わることに神様に心が向かうことを祈っています。

●今後の展望

小学生の頃に友達と遊び感覚で教会学校に2〜3回集ったことのあるAさんは、中学生になって、ある授業で「この中にキリスト教の人はいますか？」と聞かれたときに、積極的に手を上げて「私、キリスト教です」と言ったそうです。家は仏教のようですが、「家に（ギデオンの）聖書があるから」とのこと。いろんな事情で続いて教会には来ていなくても、Aさんのようなお友達がいることに大きな励ましをいただきました。

友達と楽しく通った教会、播^まかれた種はいずれ芽を出して成長することを期待して、祈りつつ、今できることに、全力で励みたいと思います。そういえば、今年の六月から熱心に求道しておられる方は、学生時代に教会に行ったことがあるそうです。実に〇十年ぶりでしょう。感謝です。

（宮崎千恵）



秋の野外親睦会